

●第63号へ一九七九年九月

特集・横浜の地下

都市にとつての地下その利用のあり方——川上秀光

地盤と地震災害——中台 寿 森 一紀

地盤沈下の現状と対策——亀山建一

地下街と安全性——木下真男

地下鉄における地下利用と諸対策——五十嵐武利

地下の土木工事桜木町五重立体工事の計画と施工——立神 孝

地下埋設物の施工と管理——白居 守 一沢恒夫

①道路行政と地下埋設物——松野完二

②下水道——中村紀久雄

③上水道——藤瀬紘二

④ガス——高橋健一 谷田部義夫

⑤電力——斉藤博文 千葉松男

⑥電話——牛山昭和

⑦共同溝——斉藤 勇

地下埋設物台帳の整備と活用——奈良場篤

行政研究——石井ちず子

都市を流れる川その考え方——

集団意思決定プロセスへのアプローチ広域行政に

おける費用負担をケース・スタディとして——渡辺 健

新書紹介——北園義広

浪費の時代を超えて——

●第64号へ一九七九年一二月

特集・市民の食料と食生活

わが国の食料事情——内山和男

現代日本人の食生活——成田 功

市民のたべもの——久保田禎男

調査季報総目次

食生活と健康——笠原久弥

食品添加物を考える——鈴木ヤエ

牛肉の流通と牛の飼育・販売——竹井二三子

味・ざっくばらん——黄 成武

食料をめぐる消費者活動——多根雄一

行政研究

大型店進出問題と都市産業政策——細谷 延

土地利用現況の総合的把握と活用——反町良雄

横浜と東京都市圏の交通——伊藤 勲

——木下久昭

——田代 透 佐藤泰一

——森 清和

●第65号へ一九八〇年三月

特集・横浜の国際性

市民と国際性——山極 晃

国際都市「横浜」をどのように受けつぐか——外岡 勲

自治体経済交流の手法と展望——原田正成

街づくりと国際性——小沢恵一

行政の国際性——内藤惇之

①一職員として国際性ということを考える——佐々木寛志

②開発途上国にみた国際的都市ナイロビ——牧田修俊

市民の国際交流活動

①「国際交流を考える市民の会」の活動——横瀬多喜

②「横浜国際交流ボランティアの会(YKKV)」の活動

——小山八千代

——加藤勝彦

——東海林静男

——都市科学研究室

——関連資料

——

行政研究

建築詳細計画と大型店進出問題——前田 寿

新書紹介——ソフト・エネルギー・パス——富永 修

●第66号へ一九八〇年六月

特集・歩行者空間

人・道・町——望月照彦

歩行者空間とまちづくり——西脇敏夫

——金近忠彦

——三浦 良

——遠藤包嗣

——杉山 彰

——安藤健二

行政資料

歩行者空間の整備——歩専道研究プロジェクト・チーム

行政研究

市民の提案による「二十一世紀への横浜の街づくり」

——石毛良夫 小松崎隆

——芳賀宏江

新書紹介

——岡田優子

——

——

——

——

——

——

——

——

——

——

昭和55年(1980年)9月30日

編集・発行——横浜市都市科学研究室

横浜市中区港町1-1

電話——045・671-2011・2029 郵便番号——231

印刷——西岡印刷株式会社

横浜市南区吉野町5-22

●横浜市のデータ

人口——2,788,283人<55.8>

世帯数——835,819<55.8>

面積——426.71km<55.8>

児童・生徒の骨折 135人(1日あたり)

公害健康被害者 884人(55.7)

疾病死亡者数 1位 悪性新生物 2,866人<54年度>

2位 脳血管疾患 2,597人< " >

3位 心疾患 1,695人< " >